

えいよう

通信

2023.4 第158号

4月



Switch off. 『EARTH HOUR』



2023.3.25 20:30から60分間!

世界中が同じ日、同じ時間に消灯し、「地球温暖化防止」と「環境保全」の意思を示す世界最大級の消灯アクション。

【EARTH HOUR】アースアワー

日付変更線に近い国から順番に20:30の消灯をつないでいく地球規模のイベントです。

ニュースなどで聞いたことがあるという方もいらっしゃると思います。

また、参加された方もおられるでしょうか?

2007年、WWF（世界自然保護基金）のオーストラリア支部で行われたことがきっかけで、翌年から国際的なイベントとなりました。

日本は、1971年にWWFに加盟しています。（世界で16番目）

世界では100カ国以上が参加している環境保護団体であり、人と自然が調和して生きる未来を目指してサステナブルな社会の実現を進めています。

SDGsの取組みとも重なって、このようなイベントに積極的に参加して地球温暖化を防止して、美しい地球のたくさんの美しい自然環境を守っていききたいですね。



～ 食べる ～ ことは、 ～ 生きる ～ こと

もう一度、改めて食べることは生きること を思い、考えてみました。

言い方を変えてみますと、患者さんの「食べたい」は、「生きたい」という意味にとらえられ、ご家族としては、「食べて欲しい」という気持ちは「生きて欲しい」と読み取れます。

また、嗜好などの要望も「〇〇して欲しい」「〇〇が食べたい」は、「食べたいものを食べて生きたい」「不快なく食べて生きたい」と

聞こえるのです。その様に聞こえるのは決して私だけではなく、現場で働くあらゆる方々がそんな心の声を聞いているのではないのでしょうか。勿論、叶えられない事もありますが、痛みに対してお薬の量を変更する様に、食事もご本人の意向を聞いてご家族や多職種の方々と連携して「叶う」事が増やせるのではないかと感じます。健常者の私達には到底分からない不安や不快な体験をしている患者さんの訴えは切実です。これからも対応出来る方法を考えていきたいと思えます。



4月とうことで、新年度のスタートですね。今年は桜の開花が例年よりも早く、入社式や入学式には葉桜になってしまいました。(≥▽≤) 温かいのは嬉しいですが季節を愛でる余裕が欲しいこの頃です。

お陰様で我が家の次女も進学。日本では当たり前の進学ですが、勉強出来る環境が当たり前ではない国や地域もあります。『すべての子供たちに等しく豊かな環境のなかで教育を受けさせたい』というベルマーク教育助成財団の願いに賛同し、今年度ベルマークを集めたいと考えています。

ご協力いただける方、回収箱を設置しますので宜しくお願い致します。

等しく豊かな環境で教育を受けた子供達が、地球温暖化問題や右にある私の大好きな沖縄の海や珊瑚を美しいまま残す術を学び「環境保全」に向き合ってくれるととても嬉しいです。そんな未来を想像しつつ…(*^^)v



入学式のあとから毎日お弁当をつくらなければ👩‍🍳

給食は有難かったなあ～

小林